

2009年8月7日 現地演習

村落フィールドワーク：村を歩き、観察し、地図化する（8月7日）

この日は3つのグループに分かれて村の地図化を行った。1つのグループは、村の中心部から山（森林）に向かう地区、別のグループは海沿いの地区（学校も訪問）を地図に描く作業を行った。もう1つのグループはホームステイ先の家族と一緒にアイスクリームを売りながら地図を作成するグループである。



森林を踏査



学校訪問



ホームステイの家族と

山（森林）に向かうグループは、木の種類や魚を養殖している様子を観察しながら村の中を歩いた。多くの木が食用や薬用に使われており、さまざまな活用法があることを知った。竹は、日本と異なり、株状に生えている。村はずれには水田が広がっていた。森林に入ると一変して景色が変わり、暫くすると温泉が湧き出している地点にたどり着いた。熱帯の樹木が生い茂り、光が差し込むととても幻想的な場所であった。目的地であった温泉に着いた達成感と、とても静かで幻想的な光景に疲れも吹き飛んだ。

海沿いのチームは、漁に用いる筏を観察した。漁業は少なからぬ村人の生活の糧となっている。学校に立ち寄り子供たちが勉強する姿や学校の様子を観察した。子供たちはとても元気だった。さまざまな物売りにも出会った。アイスクリーム売りからアイスクリームを買い子供たちの日常を体験した。

当日は村の一軒で結婚式が行われており、2つのグループはその結婚式会場で落合い式を見学した。2つのグループはスンダジャヤに帰り、観察結果を地図化していった。

ホームステイ先の家族と共に動いたチームは、隣村の学校までアイスクリームを売りに行くのを手伝いながら、その道程を地図化した。

（記録：佐々木明日香）